

令和 7 年度アレルギー疾患対策事業実績報告について

1 協議会の開催

(1) 第1回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

日 時

令和7年9月1日(月)

内 容

ア 令和7年度アレルギー疾患対策事業計画について

イ 令和8年度アレルギー疾患対策事業計画の方向性について

(2) 第2回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

日 時

令和8年3月2日(月)

内 容

ア 令和7年度アレルギー疾患対策事業実績について

イ 令和8年度アレルギー疾患対策事業(案)について

2 令和7年度福島県アレルギー疾患市民講座

(1) 継続通年動画配信

ア 内容

(ア) 大人の「ぜんそく」～どんな検査をするの?どんな治療をするの?～
視聴回数:484回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて64回増加)

(イ) アレルギー性鼻炎(花粉症)の治療について
視聴回数:437回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて70回増加)

(ウ) 食物アレルギーについて
視聴回数:780回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて61回増加)

(エ) アトピー性皮膚炎のスキンケアについて～毎日の習慣にしよう～
視聴回数:254回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて24回増加)

(オ) アレルギーを持つお子さんの保育所・幼稚園等の入園に向けて
視聴回数:383回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて33回増加)

(カ) アレルギーを持つお子さんの入学に向けて
視聴回数:412回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて29回増加)

(キ) 災害時の対応について
視聴回数:170回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて15回増加)

(ク) PAEと学ぶスキンケア～年齢別の対応方法～
視聴回数:122回(R8.2.16.現在)(R7.8.7と比べて34回増加)

資料 1

(ケ) 食物アレルギーをもつ方の食生活が豊かになるために～食物経口負荷試験ってなに？～
視聴回数：114回 (R8. 2. 16. 現在) (R7. 8. 7 と比べて 11回増加)

(コ) クリニック PAE としての活動と食物アレルギーの対応～家族で出来ることは？～
視聴回数：86回 (R8. 2. 16. 現在) (R7. 8. 7 と比べて 22回増加)

(サ) アトピー性皮膚炎の診断から最新治療まで
視聴回数：283回 (R8. 2. 16. 現在) (R7. 8. 7 と比べて 204回増加)

イ 開催方法

福島県ホームページにおいて YouTube にて配信

ウ 周知方法

(ア) アレルギーを持つ子どもを育てる保護者を対象に、効果的に啓発動画を視聴いただくことができるよう、動画 QR コードを掲載した「赤ちゃんの湿疹対策」を、母子手帳交付時等に配付し動画視聴につなげる。

(イ) アレルギーを持つ子どもを育てる保護者を支援する市町村保健師等を対象に、動画 PR チラシを研修等で配付し動画視聴につなげる。

(ウ) アレルギー疾患医療に関する基礎調査において、市民講座のチラシ設置に係る協力を得られた医療機関にチラシを配布する。

(2) 新規動画配信 【資料 1-1】

ア 日時

令和 7 年 1 2 月 1 1 日に配信

イ 内容

小児の喘息について

視聴回数：127回 (R8. 2. 16. 現在)

ウ 講師

公立岩瀬病院 小児科 齋藤 淳哉先生

エ 開催方法

福島県ホームページにおいて YouTube にて配信

オ 周知方法

(ア) 県公式 X での周知

(イ) 当課ホームページへの掲載

(ウ) 市町村・保健福祉事務所・県庁内の関係各課・協議会委員へ市民講座周知チラシを配布。

(エ) アレルギー疾患医療に関する基礎調査において、市民講座のチラシ設置に係る協力を得られた医療機関にチラシを配布する。

3 アレルギー疾患対策普及啓発事業

(1) 日時

通年

(2) 目的

既存の市民講座やパンフレット等をより活用し、アレルギー疾患の知識や治療法に関する正しい知識を県民に広く普及啓発する。

(3) 内容

ア ラジオや新聞を通して普及啓発活動

(ア) rfc いのちを守るキャンペーン 月曜日 15:25～15:35

令和8年2月23日(月) アレルギー週間について 穂住響也

(イ) 新聞掲載(福島県医師会のご協力)

執筆者: 星総合病院 皮膚科 本多 皓先生

テーマ: スキンケアからはじまるアレルギー予防、成人の食物アレルギー

・民報新聞

令和8年1月26日(月)

令和8年2月23日(月)

・民友新聞

令和8年2月16日(月)

令和8年3月2日(月)

(ウ) 大塚製薬の「赤ちゃんの湿疹対策」啓発冊子

4 市町村担当者向け研修会

(1) 目的

住民に身近な母子保健サービスの担い手である地域の母子保健関係職員等が、乳幼児等の発達や健康に影響を及ぼす課題である視覚や食物アレルギーについて、本県の現状や専門的知見を学ぶことで、今後の母子保健活動の充実を図ることを目的とする。

(2) 対象者(参加者数: 95名)

市町村及び県保健福祉事務所に勤務する保健師、栄養士、歯科衛生士、行政職等母子保健関係職員

(3) 開催時期

6月11日(水) 13:30～16:00

(4) 講師

公益財団法人仁泉会 北福島医療センター眼科 八子 恵子先生

公益財団法人 星総合病院 小児科 佐久間 弘子先生

(5) 開催方法

子育て支援課と連携し、母子保健指導者研修として実施。

5 保育園・幼稚園の先生向け研修会

(1) 令和7年度福島県保育所等安全対策推進研修

ア 目的

福島県内の保育所、認定こども園、地域型保育事業、地域子ども・子育て支援事業、認可外保育施設及び認可外の居宅訪問型保育事業での重大事故を防止するため、事故防止、事故発生時の対応等に必要な知識、技術の修得、資質の確保に必要な研修を実施する。

イ 対象者

福島県内の保育所等の経営者、管理者
福島県内の保育所等に勤務する職員
その他研修の受講を希望する福島県内在住の方

ウ 開催時期

8月24日（日）9：30～17：00
10月23日（木）9：30～17：00

エ 開催方法

子育て支援課が、既存研修の中で実施。

(2) 福島県認可外保育施設職員研修

ア 目的

福島県内の認可外保育施設の保育従事者の方の資質の向上のため。

イ 対象者

福島県内の認可外保育施設の経営者・管理者
福島県内の認可外保育施設の職員
その他研修の受講を希望する福島県内在住者

ウ 開催時期

10月30日（木）9：30～17：30
11月16日（日）9：30～17：30
12月 5日（金）9：30～17：30

エ 開催方法

子育て支援課が、既存研修の中で実施。

6 (新) アレルギー疾患災害対策強化事業

(1) 目的

市町村や保健福祉事務所の職員が災害時におけるアレルギー対応の必要性について理解するとともに、避難所で起こりうるアレルギー関連の課題の整理及び実際に災害が起きた場合のアレルギー対策を踏まえた具体的な行動を学ぶため研修会を開催する。

(2) 実施内容

ア 避難所運営ゲーム HUG を用いた机上訓練及びファシリテーター養成研修

(ア) 日時

令和7年5月27日(火) 10:00～15:00

(イ) 場所

福島テルサ 3階 大会議室「あぶくま」

(ウ) 対象

各保健福祉事務所保健師、管理栄養士、歯科衛生士等

(エ) 講師

HUGのわ主宰 倉野 康彦氏

(オ) 内容

【資料1-2】のとおり

イ 能登半島地震等の災害から学ぶアレルギー対策

(ア) 日時

令和7年8月1日(金) 13:30～15:50

(イ) 場所

杉妻会館 牡丹

(ウ) 対象

市町村や各保健福祉事務所職員

(エ) 講師

宮城県立こども病院アレルギー科 三浦 克志先生
アレルギーを考える母の会 長岡 徹氏

(オ) 内容

【資料1-2】のとおり

ウ 平時から行う災害時のためのアレルギー対策

(ア) 日時

令和7年11月7日(金) 13:30～15:50

(イ) 場所

杉妻会館 牡丹

(ウ) 対象

市町村

(エ) 講師

宮城県立こども病院 アレルギー科 三浦克志先生

国立病院機構 災害医療センター 小早川 義貴先生

福島県立乳児院 七海智津子氏

(オ) 内容

【資料 1 - 2】 のとおり

7 アレルギー疾患標準治療普及啓発研修会事業

(1) アレルギー疾患医療中心拠点病院医師派遣について→ 1 名派遣

ア 研修名

小児アレルギー研修

イ 参加者

福島県立医科大学附属病院 小児科学講座 鈴木健太 先生

ウ 研修日程

令和 8 年 2 月 2 日 (月) ~ 2 月 6 日 (金)

エ 研修期間

1 週間

オ 研修場所

国立成育医療研究センター病院

(2) **(新)** 総合アレルギー講習会について→ 該当者なしのため派遣なし

ア 研修名

総合アレルギー講習会

イ 対象者

拠点病院医師で今後アレルギー専門医を取得予定がある医師 1 名

ウ 研修日程

2026 年 3 月 14 日 (土) ~ 15 日 (日)

エ 研修期間

2 日間

オ 研修場所

横浜 (対面と WEB 配信によるハイブリット開催)

8 アレルギー疾患対策従事者研修⇒1名派遣

- (1) 研修名
アレルギー疾患対策従事者研修
- (2) 対象者
都道府県等の自治体に勤務し、アレルギー疾患対策に係る保健師 1名
- (3) 研修日程
2025年9月18日(木)～9月19日(金) (1泊2日)
- (4) 研修期間
2日
- (5) 研修場所
国立保健医療科学院
- (6) 参加者
健康づくり推進課 厚海都花
- (7) 内容
ア アレルギー疾患に対する都道府県・市町村、拠点病院の役割、連携体制に関する
取り組み
イ アレルギー疾患に対する災害時の取り組み

9 専門職向け研修会の開催(大塚製薬株式会社:主催、福島県:後援)

- (1) 対象者
医師・メディカルスタッフ
- (2) 研修日時
5月24日(土) 15:00～16:30
- (3) 研修会場
郡山市労働福祉会館 大ホール(対面とWEB配信によるハイブリット開催)
- (4) 研修名
医師・メディカルスタッフのための小児アレルギー診療実践セミナー
(テーマ:アレルギー児の災害対策)
- (5) 研修内容
小児科医、家族会、管理栄養士、行政のそれぞれの立場からアレルギー児の災害対策の課題や平時から行うことが望ましい備えや対策について学んだ。
- (6) 講師
星総合病院 増山 郁先生(小児科部長、クリニカルシミュレーションセンター長)
いわき市アレルギーっ子交流会「もぐのび」 緑川 琴江氏(代表)
福島県立乳児院 七海 智津子氏
福島県 健康づくり推進課 穂住 響也

1.0 アレルギー疾患医療に関する基礎調査について

(1) 目的

福島県内のアレルギー疾患医療提供体制の現状を把握し、アレルギー疾患医療提供体制の整備、医療機関間のネットワークづくり及びアレルギー疾患を有する患者やその家族に対し情報提供する。

(2) 対象

アレルギー科、内科（呼吸器科、呼吸器内科を含む）、皮膚科、耳鼻咽喉科、小児科、眼科を標榜する医療機関（1063 医療機関）

(3) 内容

- ① 医療機関名等
- ② 医療機関に関する情報
- ③ アレルギー疾患診療を行っている診療科目
- ④ 診療可能なアレルギー疾患
- ⑤ 日本アレルギー学会専門医の在籍（数）
- ⑥ 小児アレルギーエデュケーター（PAE）の在籍（数）
- ⑦ 学校生活管理指導表の記入
- ⑧ 実施可能なアレルギー疾患に関する検査・治療等
- ⑨ 患者やその家族に対する講習会等の実施状況
- ⑩ 自院又は県内の医療従事者の知識や技能向上に資する研修の実施状況

(4) 新規追加項目について

- ・アレルギー性鼻炎の項目に舌下免疫療法を追加
- ・オンライン市民講座のチラシ設置に係る協力可否

(5) 調査結果

【資料 1-3、1-4】 のとおり